

丸亀市教育大綱(案)

丸亀市人づくりビジョン 【令和4年度版】

基本理念

丸亀市は、すべての子どもたちの自立と共生を育み、輝かしい未来を担う社会の創り手となることができるよう、まち全体で子どもを育てる環境づくりに取り組みます

すべての市民が自己の人格を磨き自己実現を目指し、豊かな人生を送ることができるよう、生涯のあらゆる段階で、多様な学びの機会を提供します

伝統と文化を尊重し、公共の精神と他者との協力を大切にし、丸亀市が持続可能な社会として発展していけるよう、まちづくりの主役となる人づくりをみんなの力で進めます

委員	意見	対応案
徳永委員	「自己の人格を磨き」の文言について、教育基本法の言葉を意識されたことは分かるが、大きな言葉すぎてなじめないのではないか。「自己実現を目指し」のような文言を使用してはどうか。	「自己実現を目指し」に文言を修正いたしました。
土方委員	1段落目については、教育委員会でもコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を推進していることから、より活発に展開されるよう協力したいと思う。 2段落目については、すべての市民がその能力に応じた教育の機会を与えられることを基本理念に示すことで、取組が進んでいくものと思う。 3段落目については、社会全体が「持続可能な社会」へと舵を切っていることに合致している。 今後は、すべての課題に持続可能であるかの視点と、その解決方法を考えなければならないことが求められると思われることから、このように基本理念に示すことで、この視点等を持った人づくり・まちづくりを目指していけると思う。 全体的にすっきりまとまった基本理念になっていると思う。	—
福田委員	3段落目の文章表現について、もう少しすっきりした表現にならないか。	1、2段落目に合わせた文章表現に改めました。

基本目標

- I【子どもの教育】 主体性と公共性を備えた豊かな人格の子どもを育てる
- II【教育環境の整備】 すべての子どもが平等に安全で安心して教育が受けられる環境を整える
- III【生涯学習の推進】 市民が豊かな人生を送れるよう、生涯において学び、活躍できる機会を充実させる
- IV【文化芸術の振興】 地域社会と市民一人ひとり一人に活力をもたらす文化芸術活動を促進する
- V【スポーツの振興】 市民の健康とまちのにぎわいにつながるスポーツを推進する

委員	意見	対応案
金丸教育長	II【教育環境の整備】について、「安全で」を加えたことにより、文章のつながりが悪くなっている。表現を修正できないか。	文章のつながりを意識し、表現を修正いたしました。
	「生涯学習」について、「生涯において学び」に修正してはどうか。	文言を修正いたしました。
福田委員	IV【文化芸術の振興】について、「一人一人」を「一人ひとり」に変更した理由は。文部科学省の表記では、「一人一人」だったと思う。	ご指摘のとおり文部科学省の推奨する「一人一人」の表記といたします。

施策の方向性

I【子どもの教育】

1. 地域学校協働活動をはじめ、学校・家庭・地域との連携を通~~して~~してし、地域一体となって視野の広い、情緒人間性豊かな子どもを育てる

委員	意見	対応案
金丸教育長	「通して」を「通し」に、「情緒」を「人間性」に修正してはどうか。	文言を修正いたしました。
徳永委員	市長公約を踏まえ、最初に地域学校協働活動(社会教育領域)を掲げているが、現在、丸亀市学校教育の方針としてコミュニティ・スクールの充実(学校教育領域)を掲げています。子どもの教育の最前線に立つのは、やはり保・幼(こ)・小・中・高であるのは間違いないと思います。 I【子どもの教育】の施策の方向性1と、II【教育環境の整備】の施策の方向性8を入れ替えてはどうか。	I【子どもの教育】は、社会教育を含めた子どもの育成に関する項目で、II【教育環境の整備】は、教育現場での子どもの環境に関する項目としております。
土方委員	新たに「地域一体となって」の文言を追加された。なぜ今コミュニティ・スクールなどによる開かれた学校づくりが必要なのか、根幹となる施策であるのかをみんなが理解して取り組むことで、より効果のある取組になると思う。	—
福田委員	I【子どもの教育】は、子どもの教育内容について書かれているところであると認識している。「地域学校協働活動」はどちらかというところ、II【教育環境の整備】や、III【生涯学習の推進】に該当する内容ではないか。 II【教育環境の整備】の施策の方向性8や、III【生涯学習の推進】施策の方向性14、15に文言を入れた方が分かりやすいのではないか。	I【子どもの教育】は、学校教育だけではなく、就学前教育や社会教育も含め、丸亀市としてどのような子どもを育てたいかの考えを示しています。 このことから、市長公約を踏まえ、「地域学校協働活動」を通し子どもを育てていく考えを一番に示しました。
	「視野の広い、情緒豊かな子どもを育てる」ことが目標であることから、「多様な経験を積む」という表現を残した方が良いのでは。	文の主語は丸亀市であり、「多様な経験を積む」を残すと、丸亀市が経験を積むということになります。かわりに市長公約を踏まえた「地域一体となって」の文言を追加しました。

福田委員	I【子どもの教育】の中に就学前教育についての記述はなくても良いのか。	就学前教育という直接的な文言はありませんが、I【子どもの教育】には、就学前教育（幼・子）や社会教育などを含む内容となっております。
------	------------------------------------	---

3.2. 相手の意見や互いの多様性を認め合い、いじめ等の人権侵害を許さない、人を大切にすることを育てる

委員	意見	対応案
土方委員	令和3年1月1日に施行された「丸亀市人権を尊重し多様性を認め合うまちを実現する条例（通称：多様性条例）」が施行された。 子どもの教育においても多様性を認め合い、差別やいじめなどの人権侵害を許さないという基本的な理念を、大人がしっかりと示していける教育であってほしいと思うことから、3番から2番に順番を変更してはどうか。	3番から2番に順番を変更いたしました。

3.3. 自分の考えを持って意見を言い、主体的に行動ができる子どもを育てる。また子どもの意見表明権を十分に尊重する

4. 好ましい生活習慣や食習慣を身につけさせるなど、教育における家庭の役割を重視し、心身ともに健康な子どもを育てる

5. 郷土丸亀の歴史や・文化・自然を知り、丸亀に愛着を持つ子どもを育てる

委員	意見	対応案
徳永委員	郷土丸亀の歴史や自然を知り →郷土丸亀の歴史・文化・自然等を知り 歴史や自然に限らず、うちわなどの文化的価値のある伝統工芸品のほか、骨付鳥などの「食」に対しても愛着を持ってほしいことから、文言の修正を提案する。	文言を修正いたしました。ご提案いただいた骨付鳥などの「食」については、食文化を育む代表的な産品として文化に含まれることから「等」は追加しないことといたしました。

6. 国際平和、自然環境、政治参加、多文化共生に関する教養を身に付けた、現代社会のグローバルな課題に対応できる子どもを育てる

II【教育環境の整備】

7. 教育の政治的中立性を確保し、市教育委員会としての機能を強化する

委員	意見	対応案
福田委員	<p>平成27年度の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴う、新しい教育委員会制度（現行の教育委員会）への整備そのものが、教育委員会の機能を強化するものと認識していた。</p> <p>そのために現大綱の施策の方向性7「教育の政治的中立を確保し、市教育委員会としての機能を強化し、頼りになる教育委員会をつくる」と書かれているのだと思っていた。</p> <p>今回の「機能を強化する」とは、これまでの強化（迅速な危機管理体制の構築、市長との連携等）を引き続き行うことか、それとも違った内容か。</p>	<p>これまで同様に教育委員会と市長部局との連携などを、引き続き強化していく意味で記載いたしております。</p> <p>国の「令和の日本型学校教育」においても、今後の課題として、教育委員会の強化が掲げられております。</p>

8. コミュニティ・スクールなどによる開かれた学校運営のもと、コミュニティ・スクールを進め、地域とともにある学校づくりに取り組む

委員	意見	対応案
金丸教育長	<p>すでに開かれた学校運営を行っていることを踏まえ、「開かれた学校運営のもと、コミュニティ・スクールを進め」に表現を修正していただきたい。</p>	<p>表現を修正いたしました。</p>

9. 新時代の学びを支える学校施設やICT教育の環境整備とともに、少人数学級の編制による指導体制の整備や個々の教員の指導力向上に取り組み、個別最適な学びの実現を目指す

委員	意見	対応案
金丸教育長	<p>少人数学級の編成については、香川県教育委員会の権限であることから、「少人数学級による指導体制の整備」と表現を修正してはどうか。</p>	<p>「少人数によるきめ細やかな指導」を内容に含めた「少人数学級による指導体制の整備」へ文言を修正いたしました。</p>
福田委員	<p>少人数学級の編成は、すでに整備されているのではないかと。より少人数指導体制ということで、「少人数によるきめ細かな指導」としてはどうか。</p> <p>「教員の指導力向上」や「個別最適な学び」について、教育環境の整備とは少し内容が異なるような気がするが。</p>	

<p>土方委員</p>	<p>施策の方向性9、10に共通する意見である。 今回のコロナ禍で学校の一斉休校を経験して、学校という場所が子ども達や社会にとってたくさんの役割を担った場所であるということを再認識したとともに、これからの学校教育の在り方を考える機会にもなったと思う。このことから、施策の方向性10には特に期待をしており、学びを止めない取組を進めていくことが重要であると認識している。</p> <p>丸亀市の子どもがいつでもどこでもアクセス可能なクラウドに、授業動画を公開し学びの機会を保障する「学びのセーフティーネット」をつくることで救われる子どもも多くおり、施策の方向性12の教育格差にもアプローチできる。塾に行けなくても、授業が一度で理解できなくても、何度でも動画を見直すことができたなら、それは学力の向上につながる。ぜひ丸亀市で学べて良かったと思える環境の整備を前向きに進めていただきたい。</p>	<p>—</p>
-------------	---	----------

- 10. 不測の事態への備えとして、学校での感染症防止対策のほか、ICTを活用した教育環境や指導体制を整え、子どもたちの学びの機会を保障する
- 11. 働き方改革や業務改善により、教職員の業務負担を軽減し、子どもと向き合う時間や環境を確保する
- 12. 家庭の教育費負担を軽減する等など、貧困による教育格差を是正する
- 13. 幼保一元化を推進するとともに、すべての子どもに質の高い就学前教育、保育を保障する

Ⅲ【生涯学習の推進】

14. 人生100年時代を見据え、生涯を通じて学び、活躍できる機会を充実させ、生涯学習を推進する

15. 市民が学びでつながり、その成果を還元する「学びの循環」を地域や民間事業者など等と連携して実現し、まちの活性化につなげる

委員	意見	対応案
土方委員	「学びのつながり」と「民間事業者との連携」が加わったことにより、民間事業者とも連携し、市民同士がつながることで、新しい活動が生まれる豊かな社会を想像できるものとなり良いと思う。	—

Ⅳ【文化芸術の振興】

16. 市民の主体的な文化芸術活動を促進し、地域内や世代間での交流の拡大や地域文化の再認識をすすめる

17. 市民がくらしのなかで文化芸術に触れる環境を整え、誰一人取り残さない共に生きる社会を築く社会包摂の理念のもと、心豊かな生活と活力あるまちづくりにつなげる

委員	意見	対応案
徳永委員	「社会包摂」ではなく、「社会的包摂」の方が良いのでは。	委員ご指摘の「社会的包摂」という文言は、主に福祉に係ることで使用されています。 一方、文化においては、文化庁をはじめ、「社会包摂」という文言を使用していることから、施策の方向性17は「社会包摂」と表現させていただきます。
土方委員	「社会包摂」は、子どもの教育や生涯学習など、様々な分野につながる大切な理念であることから、「社会包摂」という文言をもう少しだけ翻訳してより分かりやすい表現にならないか。 また、文化芸術の社会包摂機能をぜひ学校教育の場でも子どもたちに体験させていただきたい。	社会包摂の修飾語に、「共に支え合う社会をつくる」を追記しました。

18. 丸亀城等の文化財の適切な保存と、確実な次世代への継承を図りながら有効に活用する取組を推進する

V【スポーツの振興】

19. 市民がスポーツを通じ健康づくりや生きがいづくりに取り組み、生活の質を高め、元気に暮らすことができるまちづくりをすすめる

20. 市民が世代に応じた多様なスポーツ活動を推進できる環境を整え、市民の連携や交流を拡大するとともにまちの魅力と活力を創出する

委員	意見	対応案
土方委員	今回のオリンピック、パラリンピックでもスポーツの力によってつながり、元気をもらえることを体感し、特にパラリンピックで感じた感動は、多様性を認め合い共に支え合う社会という事の意味を言葉ではない実際に心で感じとったものであった。スポーツの振興においても、持続可能であることや社会包摂の視点の入った施策に取り組むことで、ますますまち全体がつながり、活性化するものになると思う。	—

スケジュール

4月	①関係課(教育総務課、学校教育課)打ち合わせ	↓	
	①政策会議(4/30) 見直し方針		
5月	①庁議(5/6) 見直し方針		
	①総合教育会議(5/24) 見直し方針		
	①全員協議会(5/24) 見直し方針		
6月	①関係課調査		
8月	②関係課打ち合わせ 大綱(見直し案)		↓
9月	②政策会議(9/7) 大綱(見直し案)		
	②総合教育会議(9/27) 大綱(見直し案)		
11月	③政策会議(11/) 大綱・解説(最終案)		↓
	③総合教育会議(11/15) 大綱・解説(最終案)		
12月	②庁議(12/) 大綱・解説(最終案)		
	②全員協議会(12/) 大綱・解説(最終案)		
1月	パブリックコメント		
2月	④総合教育会議(※必要な場合)		
3月	③庁議(3/) 教育大綱見直し完了		